

QLogic が FabricCache を発表：業界初のキャッシング SAN アダプター

Mt. Rainier 技術をベースとした最初のソリューション、
SAN 上のサーバーをまたいで透過的で高性能の共有キャッシュを提供

ALISO VIEJO, Calif., March 21, 2013 – QLogic (Nasdaq : QLGC) は、QLogic® FabricCache™ 10000 シリーズ・アダプターのリリースにより、エンタープライズ・アプリケーションのパフォーマンスを革新的に向上させ、ハイパフォーマンス・データセンター内におけるリーダーの地位をさらに強固なものとししました。QLogic の画期的な *Mt. Rainier* 技術をベースとした FabricCache は、多くの実績を誇る QLogic のファイバーチャネル・アダプターに、サーバーベースの PCIe® フラッシュカードを使用したインテリジェント・キャッシュと IO 管理を融合させたものです。これまでのキャッシュ・ソリューションは単一サーバー専属でしたが、FabricCache は SAN ストレージを利用するさまざまなエンタープライズ・アプリケーションで共有できる高性能なキャッシュ・ソリューションで、これまでになく実装と管理が簡単です。

クラスター化、仮想化されたエンタープライズ・アプリケーションに共有パフォーマンスを開放します

データセンター内で、クラスター化され高度に仮想化されたサーバーの数は増え続けており、それは大量のランダムな IO を生成し、最も性能に敏感な環境を作り出しています。FabricCache は、サーバーベースのキャッシングが本来兼ね備えている力を引き出し、複数の物理的なサーバーがそれぞれのキャッシュを透過的に共有することで、エンタープライズ・アプリケーションを飛躍的に加速できる、新たなソリューション・カテゴリーを創造しました。FabricCache アダプターを実装したすべてのサーバーは、クラスター内の他のサーバーに実装された FabricCache アダプターにキャッシュされたデータにアクセスでき、それらを共有し、利用できます。このアプローチは、データセンターにおける最も要求レベルの高いミッションクリティカルなアプリケーションに、新しいレベルのスケラブルなパフォーマンスをもたらします。データベースやエンタープライズレベルのコラボレーションなどのクラスター化され仮想化されたアプリケーションの遅延を減らし、スループットを劇的に向上させます。

FabricCache アダプターは、高度に仮想化されクラスター化された環境において、ハイパーバイザーに透過的な SAN ストレージへのキャッシングを提供します。物理的なサーバー間の仮想マシン (VM) の移行においても、FabricCache は共有キャッシュを稼働させ続けることができます。これにより、パフォーマンスを高く保ち、クラスター化されたサーバー間の自動 VM バランスや負荷分散のような重要な機能をサポートできるのです。任意の SAN LUN に対してアクティブなキャッシュコピーが 1 つのみ存在するため、FabricCache アダプターはキャッシュの一貫性を保証し、サーバーベースのフラッシュの容量を最大限に利用することができます。また、FabricCache は、すべてのキャッシュされたデータが SAN ストレージと同期しており、既存のデータ保護とコンプライアンスのポリシーも保証します。

「QLogic は、お客様やパートナー様に、革新的でハイパフォーマンスなデータセンター・ソリューションを提供してきた豊富な経験があります」と、QLogic の社長兼 CEO である Simon Biddiscombe は述べています。「QLogic は業界での長年にわたる経験、エンタープライズにおける導入実績、顧客グローバル企業との協力関係、技術資産、優秀な R&D 技術者といった優れたメリットを持っています。これらが、FabricCache のような、革新的な、パフォーマンスを劇的に向上させるソリューションをつくりだすのです」

劇的にシンプルなソリューション：TCO を削減する透過的なアダプターベースのキャッシュ技術

他のソリューションでは、I/O アダプター、PCIe フラッシュカード用のドライバー、キャッシング用のソフトウェアを個々にインストール、管理、保守する必要がありましたが、FabricCache は違います。インテリジェントなキャッシュ処理、データ管理、クラスタリングは、FabricCache アダプター上のキャッシュ処理ハードウェアに完全にオフロードされますので、サーバーからこれらの処理の負荷をなくすことができます

FabricCache では、OS 毎に 1 つの標準的なアダプター・ドライバーのみをインストールします。これはこれまでに 1300 万ポート以上の出荷実績のある実証済みの QLogic のアダプター・ドライバーと同一のドライバーです。FabricCache アダプターは論理的に 1 つの QLogic HBA としてサーバーから見えるので、追加のサーバーリソースを消費せず、完全にアプリケーションに透過的な（透過的とはアプリケーションがキャッシュを意識する必要がない）、インフラストラクチャーやストレージサブシステムに依存しないシンプルなソリューションです。FabricCache は既存のエンタープライズ・サーバーやインフラストラクチャー環境とシームレスに統合でき、インストールと管理を簡潔にし、結果として TCO を削減します。

より大きな ROI : 既存のインフラストラクチャーを使ってより多くのアプリケーションのパフォーマンスを加速化

FabricCache の、アダプターベースのキャッシュ処理と組み合わせられた単一ドライバーのアプローチは、別のキャッシング・ソフトウェアを購入・実装する必要がなく、運営や設備投資の支出を削減します。FabricCache は、エンタープライズにおいて、サーバーベースのキャッシングを、より高いパフォーマンスが要求される環境で使用できるようにし、多数のミッションクリティカルなアプリケーションがさらに多くの処理を行なえるようにします。クラスタ化されたキャッシュは、SAN 上の冗長なトラフィックを取り除き、既存のインフラストラクチャーに新しいレベルのパフォーマンスをもたらし、既存の設備の寿命を延ばします。結果として、FabricCache は、サーバーベースのキャッシングの経済性を変え、現在入手可能なパフォーマンスを向上させる製品に比べ、よりシンプルで非常に高い価値を生み出します。

「FabricCache 10000 シリーズは、QLogic の革新的な Mt. Rainier 技術から生み出された、新しい、高度に差別化されたソリューションのほんの始まりです」と、QLogic のストレージ・ソリューションズ・グループ、上級副社長兼ゼネラルマネージャーの Shishir Shah は述べています。「QLogic はエンタープライズ・アプリケーションの戦略的パートナー及び主要な OEM との関係をより深化させ、FabricCache のような次世代のブレイクスルー・ソリューションを市場に提供することを楽しみにしています」

エンタープライズ・アプリケーションの SAN 向けパフォーマンス向上の新時代

デュアルポート 8Gb ファイバーチャネル FabricCache QLE10000 アダプターは、現在稼働している非常に多くの SAN との互換性を持っており、超低遅延で高性能な SLC PCIe フラッシュカードとセットで提供されます。FabricCache は 2013 年 3 月末に QLogic 認定チャネルパートナーから入手可能になります。QLogic の新しいアドバンスド・ソリューション・パートナーとは、顧客の要求を特定するためのトレーニングを受け、そのスキルのある FabricCache 認定リセラーで、FabricCache のカスタマイズされたインストールをサポート可能なツールを持ち、その経験があります。最寄りの QLogic アドバンスド・ソリューション・パートナーと FabricCache アダプターのパフォーマンスやユニークな機能については www.qlogic.com をご覧ください。

業界アナリストの声 :

「QLogic の FabricCache は、ストレージ・エリア・ネットワークにフラッシュキャッシュを追加する場合の問題解決に大きな貢献をしました」と、Wikibon の最高技術責任者兼共同設立者、David Floyer 氏は述べています。「ファブリック内にキャッシュを配置し、それが標準的なファイバーチャネル HBA ドライバーでサポートされることにより、キャッシングがアプリケーション・ホスト・システムとスト

レージ・システムに透過となります。これは、FC SAN 環境にとってインストール、管理、拡張がより簡単に低コストで実装できることを意味します」

「今日のサーバーベースのキャッシング・ソリューションでは、高性能サーバーと、遅くて機械的なハードディスク・ベースのストレージレイ間の I/O パフォーマンスのギャップを小さくし始めたところでは、QLogic の FabricCache QLE10000 アダプターは、サーバーベースのキャッシングにおいて、業界初のキャッシング SAN アダプターによって、SSD も共有 SAN リソースとして使用できる、と再定義しました」と、Taneja Group の設立者兼コンサルティングアナリスト、Arun Taneja 氏は述べています。「QLE10000 アダプターは、これまでは個別のサーバー内でしか得られなかった SSD の性能をクラスター化されたエンタープライズ・アプリケーションが享受できるようにしました。FabricCache により、開拓可能な潜在的市場が大きく成長していく — QLogic にとって、大きなチャンスです」

「物理的なワークロードのパフォーマンスを越える、仮想化ワークロードを活用した仮想化は、今日のデータセンターではあたりまえでしょう。これから 2016 年までに 9100 万の VM が新たに稼働し始めることが予想されており、仮想デスクトップインフラ (VDI) 市場も年平均成長率 14%で伸長を続けることと予想しています」とリサーチ業界のリーダー IDC のクラウド & 仮想化システムソフトウェア・リサーチ・マネージャーの Gary Chen は述べています。「仮想化において I/O パフォーマンスは最も難しい分野であり、VM の密度や Tier-1 ワークロード、VDI の数が増加すると、例えば『システムブートの嵐』を引き起こし、I/O サブシステムを圧迫してしまいます。その I/O の問題解決に有効な共有可能なサーバーサイド・キャッシングのようなテクノロジーを活用する QLogic の FabricCache QLE10000 ソリューションは、業界に歓迎されることは間違いないでしょう」

お客様の声：

「まず FabricCache QLE10000 アダプターを動作させて、基本的な接続、マルチ・パス、フェイルオーバー・テストによって、システム内で、それがどのように動作するかを確認しました。インストールは、わかりやすく簡単で、FabricCache QLE10000 は他のアダプターと変わらず普通にネットワークに表示され、シームレスに SAN に統合できました」と、英国の IaaS と PaaS プロバイダー、Carrenza の最高技術責任者、Jason Reid 氏は述べています。「Microsoft SQL クラスターを動作させた VMware 仮想マシンによる更なるパフォーマンステストでは、リード/ライト混在環境で 3 倍のパフォーマンス上昇を示しました。当社の 3Par アレイに対する大きな I/O 要求の負荷軽減、書き込みパフォーマンスの大きな向上もありました。FabricCache QLE10000 アダプターの透過的なキャッシングは、潜在的な障害に対してもシステム影響なく回復可能で、我々の顧客が要求する QoS や SLA のレベルを満たすパフォーマンス強化を実現してくれます」

「Constant Contact では、当社の技術インフラストラクチャーの速度、パフォーマンス、信頼性を向上させるソリューションを常に探しています。2012 年だけで仕入れ先、潜在顧客、既存顧客に 450 億件の電子メールを送信した、我々の 50 万以上のスマールビジネスの顧客にサービスを提供していく上で、より良いソリューションを求めていくことは非常に重要です」と、Constant Contact の最高技術責任者、Stefan Piesche 氏は述べています。「Mt. Rainier のベータテストは、これらの要求に応える能力があることを証明しました。これにより、ユーザーのシームレスな操作性を犠牲にすることなく、当社の顧客ベースの大きくなる一方の要求を満たすため、インフラストラクチャーを向上させていくことができます。これまでも双方にとってウィン・ウィンの関係であった QLogic とのパートナーシップを今後より深くしていくことを楽しみにしています」

アドバンスド・ソリューション・パートナーの声：

「FabricCache は、データセンターの最もパフォーマンスに厳しい領域に取り組むパイオニア的なソリューションです」と、認定 QLogic アドバンスド・ソリューション・パートナー、VeriStor の最高技術責任者、Steve Bishop 氏は述べています。「クラスター化されたデータベース・アプリケーションを加

速する、簡単で、スケーラブルで、ハイパフォーマンスなこのソリューションを通して、当社の顧客が既存のインフラストラクチャーをさらに活用することを QLogic は可能にしました。さらに、当社は現在のお客様からだけでなく、最新の安定したキャッシング技術を利用したい潜在的顧客からも、新たな取引の機会を見つけることもできます。すべての関係者がウィン・ウィンですね」

「QLogic が制定した優れたプログラムであるアドバンスド・ソリューションズ・パートナーにより、我々は FabricCache のような衝撃的なソリューションによって得られるビジネスチャンスをつかむことができます」と、認定 QLogic アドバンスド・ソリューションズ・パートナー、Colfax International の CEO、Gautam Shah 氏は述べています。「QLogic のファイバーチャネル・アダプターと標準的な HBA ドライバーで SAN ファブリック内にエンタープライズ・キャッシングを導入することで、アプリケーションと SAN は、透過的でシンプルな、信頼性の高いパフォーマンス・アクセラレーターを持つことができます。これは顧客にとって素晴らしいソリューションで、Colfax にとって、長期的な利益を得られるビジネスを提供してくれます」

技術パートナーの声：

「SQL Server 2012 は、顧客にパフォーマンスのブレークスルーを提供できるようになりました」と、Microsoft の Server and Tools Marketing のディレクター、Luis Daniel Soto Maldonado 氏は述べています。「QLogic の新しい FabricCache は、顧客の SAN キャッシングとストレージのパフォーマンスの向上を、SAN アダプター・レベル実現しました。また QLogic は PCIe フラッシュ・キャッシング技術とファイバーチャネル・アダプターを組み合わせ、それらを既存のソフトウェア・ドライバと管理フレームワークで利用できるようにしています。SQL Server のエンタープライズ・クラスのデータ保護と最適化されたパフォーマンスに加え、ストレージのパフォーマンスを向上するために、顧客は FabricCache QLE10000 キャッシング SAN アダプターを追加することができます」

「QLogic の実績のあるドライバースタックを活用する、この新たな FabricCache QLE10000 SAN アダプターと、Hitachi の統合されたストレージ管理システムの組み合わせは、私たちの顧客が導入しやすいソリューションです」と Hitachi Converged Platform の CTO、Fred Huang は述べました。「共有キャッシュ・ソリューションと Hitachi のミッション・クリティカル・アレイのシームレスな統合は、パワフルな I/O の加速化とパフォーマンスを、様々な分野のアプリケーションにもたらします」

「QLogic は、透過的なサーバーベースの SAN キャッシングを共有リソース環境にもたらし、I/O をより必要とするアプリケーションにスケーラブルなパフォーマンスを提供してくれます」と、VMware の Global Strategic Alliances 担当副社長 Parag Patel は述べます。「FabricCache QLE10000 のキャッシング SAN アダプターは VMware vSphere® での SAN ストレージへのキャッシングを可能にします。これにより、物理的サーバーを跨いだライブ・マイグレーション時にも、キャッシュは常に温まっている状態 (warm cache) を維持でき、IT エキスパート達はパフォーマンスを犠牲にせずに、クラスター化・仮想化されたプラットフォームを構築可能です」

「QLogic の FabricCache QLE10000 キャッシング SAN アダプターは、「サーバー内」という、最もアプリケーションに近い場所でアプリケーションを加速させることで、NetApp のサーバー・フラッシュ戦略を補完してくれます」と、NetApp 社のデータ・ライフサイクル・エコシステム・グループ担当副社長 Tim Russell 氏は述べています。「ファイバーチャネル・アダプターに SSD を統合させるソリューションは、高性能を要求するアプリケーションのパフォーマンスを解き放ちます」

【米国 QLogic 社について】

米国 QLogic 社 (Nasdaq: QLGC) は、アダプターやスイッチ、ASIC など高性能ネットワークのグローバル・リーダーで、世界の手 OEM /チャネル・パートナー様のデータ、ストレージ、サーバー・ネットワークのソリューションに使用され、大きな信頼を得ています。QLogic は、

NASDAQ Global Select に選ばれ、S&P 500 にも名を連ねています。詳細はウェブ
(www.qlogic.com) をご覧ください。

QLogic Limited 日本支社

〒163-0532 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 32 階

Tel: 03-5322-1358 Fax: 03-5322-1364

【報道関係者からのお問い合わせ先】

米国 QLogic 社 国内広報事務所

ピーアンドシー株式会社 担当：森田 肇

Tel: 03-5371-1115

Email: morita@pandc.co.jp